

平成 28 年度 第 10 回幹事会議事録 要約

開催日時：平成 29 年 2 月 18 日(土) 16 時 04 分～18 時 58 分

開催場所：梅田サテライトキャンパス

成立要件：出席者 21 名（委任状 6 名）、欠席者 0 名（※定足数 20 名以上）

1. 報告事項

(1) 会長

- ・1 月 28 日（土）、大阪産業大学附属高等学校の卒業式に出席した。

(2) 総務部会

- ・2 月 18 日（土）15 時 10 分より部会を開催して、第 74 回代議員会の議案について検討した。

(3) 運営事業部会

- ・2 月 18 日（土）14 時 10 分より部会を開催した。支部長懇談会アンケートは 23 支部より回答があり、ブロック別支部長懇談会の開催について、良かったが 18 支部、良くなかったが 2 支部、無回答が 3 支部であった。詳細は次回の幹事会で報告する。
- ・北大阪支部（仮称）の設立準備会を 3 月 5 日（日）開催、4 月 23 日（日）に設立総会ならびに懇親会を開催する。
- ・和歌山県支部について、新役員を決めて新たな出発を図りたい。
- ・福井県支部より支部総会の開催についてもう少し待つてほしいとの連絡があり、平成 29 年度の支部総会日の確認中である。

(4) 広報事業部会

- ・2 月 18 日（土）15 時 10 分より部会を開催した。兵庫県 4 支部のHPは校友会本体と別のサーバで運用中であり、校友会本体に一本化に向けて見積金額の 172,000 円を広報事業部の来期の予算に追加計上した。また、次号の凡友の計画概要の報告があった。

(5) 事務局

- ・卒業生子女入試制度の利用者は 7 名が申請、3 名受験者、3 名合格者であった。
- ・会計士または税理士の雇用について、前回の幹事会で報告した会計士の雇用について、業務内容の調整等がついていないので、次回の報告とする。

2. 協議事項

(1) 第 74 回通常代議員会の議案について

総務部より平成 29 年度第 74 回通常代議員会の議案の提案があった。

- ・第 1 号議案平成 28 年度事業報告及び収支決算書・貸借対照表
- ・第 2 号議案任期満了に伴う次期役員選任の件
- ・第 3 号議案平成 29 年度事業計画（案）及び収支予算書（案）の承認の件について協議の結果、3 議案を第 74 回代議員会に上程することが承認された。

(2) 校友会学生表彰について

総務部より、学生表彰候補者として湯浅昂大君（体育会本部長）、児玉力哉君（文化会本部長）の 2 名が対象者であることが説明され、承認された。

(3) 国債について

会計長より、入学時に納入された会費（預り金）を国債で管理しているが、3月20日（月）に満期を向かえる。現在、購入できる国債が発行されないので、定期にすると利子が1万円で税金を差し引くと7～8000円になる。すでに南都銀行に1000万円の定期を預金しているので、利息なしの普通預金で預金するか、国債に準ずる運用にするのか意見を求められた。有田幹事に相談すれば、AAAの少しでも利息の付く元本保証付きの運用方法があるとのことであった。

協議の結果、次の国債発行までは普通預金（無利息）にしておき、利付国債が出たときに購入することが承認された。

3. 審議事項

(1) 校友会会費の徴収事務委託契約書（案）について

総務部より、法人より提示された「校友会会費の徴収事務委託契約書」の概要説明がなされた。

審議の結果、校友会会費の入金リストの提供を依頼する。契約書の一部修正をして調整することが承認された。

(2) 次期校友会代議員候補者選出について

選挙管理委員長より、次の説明がなされた。

今回の次期代議員候補者は過去12年間で初めて候補の代議員数が増えたので、その旨も考慮して選出していただきたい。

校友会の規約上の定数は幹事会30名、会長・副会長合わせて5名である。支部長が38名、代議員の定数120名であり、合計193名になる。

選挙管理委員会で選出した案で合計すると、幹事25名、支部長38名、代議員108名で合計171名となり、当初は代議員数を削減することになっていたが、現況では11名増えている。

審議の結果、現段階では次期代議員候補者届が提出済で出席率が100%の方は次期代議員候補者として承認とする。出席率100%の方で次期代議員候補者届の未提出者は、個々に継続の有無の意思確認をして、次回の幹事会で追加承認とする。具体的な手続きと次期代議員候補者の選出案は会長一任とすることが承認された。

(3) その他

- ・個人情報提供の申請書ならびに誓約書について

藤原辰夫会員（昭和52年度機械卒・兵庫県南支部長）より、魏桜流拳法部創設50周年の記念式典を開催するため、魏桜流拳法部に所属していた卒業生リスト提供の申請のあったことが報告された。

審議の結果、学生部が管理している1987年度以降のデータ、校友会が管理しているデータは提供し、1978年度以前の調査は魏桜流で対応していただくとの確認がなされ、データを提供することが承認された。

- ・リーダスキャンプ援助金について、校友会に助成金の申請があり、例年通りの金額を援助することが承認された。

以上